

今回の議会報告会で皆様から寄せられたご意見ご感想をいくつかご紹介いたします。



- 高齢者の運転免許証自主返納に加え、公共交通機関（バスやタクシー利用）を使う際の助成などの施策を展開してはどうか。
- 民間廃棄物処理施設から出る水の水質管理の徹底を望む。
- 土地の提供を前提に解体をしている他市町村もある中で、廃屋対策を議会としても考えてほしい。
- 高齢者や独居老人世帯に関して、民生委員・保健師と年4回情報交換を行っているが、個人情報保護法の壁がある。新聞店や農協など事業者との連携や「見守りネットワーク」などの体制整備が必要では。
- 危険が伴う空き家や景観を損ねる空き地の対策を議会としても考えてほしい。
- 平成23年の大雨被害で浦白との境界にある樺戸境川から水があふれた。今後改修を検討してほしい。
- 温室効果ガス削減に向け、企業などが排出する二酸化炭素と森林が生み出す酸素を相殺する「カーボンオフセット制度」の導入を町として検討してほしい。
- 温室効果ガス削減に向け、企業などが排出する二酸化炭素と森林が生み出す酸素を相殺する「カーボンオフセット制度」の導入を町として検討してほしい。
- 除雪センターの職員も融雪槽がもっと普及すれば道路に雪を出さず、除雪作業がスムーズにできると言っている。大雪対策としても消融雪機器購入助成を検討してほしい。
- 報告会で出た住民の要望等を「町に持ち帰る」のではなく、議会で受け止めて政策化する姿勢が大事。今後に期待する。
- 傍聴を増やす方策について、防災無線だけではなくチャラシを作りゆめりあや人の集まる場所に貼ってみるなど工夫してほしい。
- 議会だよりをもっと詳細に充実させてほしい。
- 学園通りは北海道が管理しているが、サンクスから中学校までの間、街路灯が間引きされていて暗い。通学路でもあり防犯上好ましくない。まちづくり懇談会で要望したが進展しない。議会としても検討してほしい。
- 近隣の市町村のスキー場閉鎖に伴い、ここ数年そっち岳スキー場の利用が増えて
- 橋本区やみどり区の会館は、水害時の避難場所としては不適切。旧宮前区会館を防災センター、または、水害発生時の避難場所に指定してほしい。
- 交通機関もなくなり高齢者の生活が不安になる。高齢者が生活できるような住宅の建設を。できれば、花月地区に建設してほしい。
- 大和小学校の跡地利用について、年限を決めて利用方法がなければ思い切った更